

自作クランクの水中姿勢と沈下速度

1 はじめに

水中姿勢と沈下速度について、お気に入りのクランクと自作クランクの比較をしました。

2 水中姿勢



モカSR(SS)

ベリーフックの代わりに0.06gシンカーが貼ってある。

リップの位置から

ラインで真横に引っ張ると浮いてくる。

ラインでやや上に引っ張るとリップが垂直になる。



モカDR(SS)

ベリーフックの代わりに0.06gシンカーが貼ってある。

リップの位置から

ラインで真横に引っ張るとリップは垂直のまま。

ラインでやや上に引っ張ると潜る。

竿を立てた方がよく潜りそうだ。



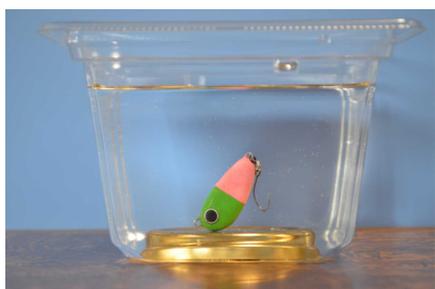
ちびパニクラDR-SS

ベリーフックの代わりに0.06gシンカーが貼ってある。

リップの位置から

ラインで真横に引っ張るとやや潜る。

ラインでやや上に引っ張ると潜る。



自作クランク

リップなし

3 沈下速度

沈下速度について調べた。市販のクランクにはベリーフックの代わりに0.06gシンカーが貼ってある。沈下速度の遅い順位並べてみた。

モカSR(SS) 極めて遅い。ルアーの周りに泡が付いていると浮いている。

ちびパニクラDR-SS

モカDR(SS) モカSR(SS)に比べてリップが大きい分、重くなるのだろうか。

自作クランク

→ 自作クランクはスローフローティングを目指しましたが、ことのほか沈下速度が速かった。

4 おわりに

自作クランクについては、実釣テストでそれなりに釣れたことから、とりあえず、完成とします。